

## 事業報告

事業名	やまぐちキッズスクール 第3回
日時・場所	10月16日(日)
参加者数	18組58名(保護者27名、子ども31名)

## 1 概要

多彩な体験活動プログラムを通して、生命や自然を大切に作る心や好奇心、探求心や創造力を高めるとともに、そこで感じたことや考えの表現・共有を通して、他者を理解し、互いを尊重し合う気持ちを育むことを目的とする、全4回の通年事業。対象は県内の幼児・小学生およびその保護者。5月29日に第1回目を実施した。

(1) 午前：「自然体験活動（ネイチャーゲーム）」

環境アドバイザーであり、深坂自然の森（下関）や山口県油谷青少年自然の家（長門）の運営、また、各地で環境学習・野外教育を展開する株式会社 FEEL の井上桂氏と職員のみなさんを講師に迎え、山口県セミナーパーク自然ふれあいゾーンを活用しながら自然体験活動を実施した。

参加者は、自然の中に紛れて設置された14個の人工物（ゴム製のトンボや葉っぱ等）を見つけるゲームに取り組んだ。注意深く自然を観察しなければなかなか見つけることはできず、親子が一緒になり集中して取り組んでいる姿が印象的であった。アンケートにも「自然に目を向ける良い機会となった」「いかにいつも注意散漫にすごしているのかを感じた、ひとつひとつじっくり丁寧に見ていくことも必要だと気づいた。」などの感想があり、自然に丁寧に目を向け、新たな気づきを得ることのできる自然体験活動となった。

(2) 午後：「レゴブロック®で森をつくろう」

山口県の新たな時代の人づくりアドバイザーでもある、NPO 法人土佐山アカデミーの吉富慎作氏を講師に迎え実施した。

参加者は3グループに分かれ、配られた6個のレゴブロックを使って各自アヒルの組み立てに取り組んだ。完成したものを見せ合うと、同じブロックを使用しているのに同じ形のアヒルは一匹もおらず、子ども達の発想力や想像力の豊かさに驚きの声があがった。

その後も午前の自然体験活動をふまえて、各自が思う「森」を自由にレゴブロックで表現した。その森にはどんなストーリーがあるのかをグループ内で発表し合い、最後には各自の森を集めて並べグループで一つの大きな森をつくった。個性を活かしながら集団活動へと繋げることのできた活動であった。

## 2 写真



